



八百七十九年二月
十二日刊行横濱「ゲマツパン」ガゼット
 十四日刊行横濱「ゲマツパン」ヘラルト
 新聞抄譯

日本ノ財政ヲ論ス
 太政官第八号洋銀相場取引禁止ノ布告ヲ論ス



4157



114
A1425

新



百七十九年二月十二日刊行横濱「チャッパン」ガゼット
社説譯

鬼頭悳二郎譯

大正十一年四月
大隈侯爵邸專贈

今我輩ハ「チャッパン」社中ヨリ当横濱商法會該所ニ
寄送セシ信唇ヲ我が「ガゼット」紙上ニ登録セリ日本内閣諸公及
ト外國公使等ハ且シテ唇中演ズル所日本現行ノ民法上ニ於テ
至大ノ欠點アルトニ付テ大ニ覺悟注意スル所アルニキヲ冀望
ス
蓋シ目下高島炭坑ノ「」ニ付キ東京裁判所ト東京上等裁判所ト
ノ兩法庭ニ訴ハ其審判ヲ仰ク處ノ原被告者ノ外ニハ一人々
リトモ吾輩記者ノ如ク終始曾テ懈怠ナク此訴訟ノ判決如何ニ
注意着目セル者アラサルベシ矣ニ吾輩記者ハ此訴訟ニ付テ原
被告ノ終日々紙上ニ登録シテ以テ公衆閱覽ノ望ニ供セリ其

レ然リ故ニ今回「ヂヤ」ジーン、マキリン社中ヨリ商法會議所ニ
寄セシ信昏ヲ讀ムニ方リ毫モ狐疑スル所ナク断然其趣旨ノ当
非ヲ確認スルヲ得タリ
日本政府ハ其國狀目下實ニ危急存亡ノ秋ニ迫レリ其會計ノ現
況ハ外國債募集ノ舉ニ頼ラサレハ到底一事一物トシテ日本國
ノ破産倒滅ニ付キ且ツ内閣ノ傾倒(恐クハ國君モヲ濟フ可キノ
術計ナシ日本政府ノ困迫推シテ知ルベキノミ
蓋シ一朝若シ日本國ニシテ凶歉ノ災ニ罹ルアアラハ兼テ其目
前ニ坐シ口ヲ閉テ獲物ヲ待受ル江湾中ニ國家ヲ没落セシムル
ヲアルハシ目下大藏卿カ初メテ明治八年度ノ歲入出決算各
世ニ公布セシハ免ニ角大藏卿カ終ニ自身ノ危険ヲ心中ニ悟リ
シヲ証スルニ足ルモノナリ
蓋シ大藏卿ハ帝ニ其歲入出豫算各ヲ公布スルノミナラス一層

緊要ノ決算報告各ヲ編成シ当初其憶豫定セシ所ノモノト實
蹟トヲ對照比較シテ以テ世上ニ公示スルカ故ニ前約ヲ空フセ
ザルモノト云フベキナリ
抑モ目下大藏卿ノ公布セシ決算報告各ハ千八百七十五年(明治
八年)七月一日ニ初マリ千八百七十六年(明治九年)ノ六月三十日
ニ終ル會計一周年間ノ分ナリサレバ千八百七十九年ノ今日ニ
至リテハ斯ク年月ノ遠ク隔リタル報告書ハ仮令ヒ公布セラレ
ハアルモ其实效ハ至少ナリト云フベキナリ
然レル他日若シ千八百六十七年七月ヨリ七十七年六月ニ至ル
決算ト千八百七十七年七月ヨリ七十八年六月ニ至ル決算ト此
兩報告各順次公布セラレハ、ニ至ラハ吾輩ハ帝ニ日本國ノ會計
進歩ニ付テ一点ノ疑團ヲモ懷カサルニ至ルノミナラス猶ホ且
ツ既ニ公布ナリタル千八百七十八年七月ヨリ七十九年六月ニ

至レ豫笑昏ニ与フルニ幾許ノ信任ヲ以テシテ可ナルベキヲ判
定シ得ハシ

蓋シ大藏卿カ今日ノ如ク初メニ豫笑ヲ出シ終リニ決笑昏ヲ出
シテ以テ日本國會計ノ実況ヲ外人ニ示スハ海外ノ財主輩ニ頼
リテ巨額ノ公債ヲ募集セント欲スルニアリトス

蓋シ此ノ外債募集ノ挙ニシテ事若シ就ルニ至ラザラシメバ現
ニ流通紙幣ノ過度ニシテ急速下落セルモノヲ能ク制禦シ得バ
キノ道ヲ知ルハ容易ナラザルベシ

外債募集ノ如キハ海外ノ財主輩ニ日本ノ國状ヲ毫モ秘スル所
ナク充々明白ニ了知セシムルニ非ラザレハ到底行ハレ難キト
ノ説ニ付テ日本政府信服セシヤ明カナリ

夫レ然リ然リト虽氏抑モ信憑ナル者ハ當ニ通商上ノ活具ナル
ノミナラス又貧政府ノ活路之ニアルナリ

猶テ又凡ソ政府タル者ハ何レノ邦國ヲ向ハス統テ其國則チ其
國人ノ名代スナリ

若シ外國財主輩ニシテ日本政府カ内外人ノ間ニ起リタル訴訟
ニ関シ其判決ノ曲直如何ヲ毫モ視察セサルコトヲ知リタラシ
ハ日本政府ハ何等ノ手段ヲ用ヒ外國財主輩ニ乞フテ以テ公債

ヲ募集センコトヲ望ミ得ベキカ
日本ノ破産律ハ實ニ滑稽法ニシテ徒ニ公道正義ヲ戲弄スルモ
ノタルニ過キス

サレバゴソ諸負債主ドモ漫ニ其負債ノ辨償法ヲ拒ムコトアリ又
法庭ニ於テハ現ニ斯ル負債主ニ憐ミ偶々外人ヨリ其資金ノ
訴訟ヲ法庭ニ願フモ成ルヤク大ケ裁判延期ヲ令シ又傲慢ノ所

行ヲナン外國訴訟人ヲシテ煩勞ヲ荷ハシムルナリ
是ニ由テ之レヲ觀レハ日本政府ニ於テハ抑モ政洲ノ例ナリ

銀行者輩が右ノ事實ニ付テ盲者ノ如ク何モ知ラザルト想像
シナスモノカ又外國銀行者輩ハ日本政府ノ處置總テ其臣民ト
同一ニ出ルト云ハサラシカ

今日ニ至ルマデ日本國ハ國ノ面目ヲモ穢ス_トナク能ク神速ニ
其小額ノ外國債ヲ償却セシガ目今一層巨額ノ公債ヲ募集セン
テ海外ニ乞フベキノ時至レリ然ルカ故ニ吾輩大ニ日本政府
ノ為メニ懼ル、所アリ何トナレハ高島炭坑訴訟ノ一件ニ付テ
郵船出発ノ都度目今頻リニ本國(英國)ニ報道スルモノアレバ為
メニ大隈重信公カ其企図セシ募集ノ挙ヲ實施スルノ機會ヲ大
ニ失スルヲアレバナリ

夫レ正直篤実ハ政府ニ取リテモ一人一個ノ者ニ取リテモ至良
至善ノ政略ナリ然ルカ故ニ日本政府カ凡ソ外國訴訟人輩ニ公
義ヲ尽スヲ肯セザル間ハ何様日本ニテ外債新募ノ事ヲ依頼ス

ルトモ外國ノ財主輩ハ其股衣_トノ衣裘ニ扣鈕ヲ密ニ掛ケテ以テ
日本政府ノ需メニ應セザル可シ

鬼頭悌二郎譯

千八百七十九年二月十四日刊行横濱「チャップマン、ヘラルド」新

譯

太政官第八号洋銀相場取引禁止ノ布告ヲ論ス

第八号

従来神奈川県下横濱港ニ於テ洋銀相場取引致候者有之候処右

ハ一切禁止候条自今洋銀取引所設立

三号布告株式取引所條例ニ照準

事

但シ資本金ハ拾五万圓以上賣買証拠金ハ百分ノ三以上タル

べシ

明治十二年二月十三日 太政大臣三條実美

夫レ貨幣相場ノ取引ヲ禁止スルカ為メ右ノ布告ヲ発行スルガ

大蔵省

免頭帰二郎譯

千八百七十九年二月十四日刊行横濱「チャップマン、ヘラルト」新

海譯

太政官第八号洋銀相場取引禁止ノ布告ヲ論ス

第八号

従来神奈川県下横濱港ニ於テ洋銀相場取引致候者有之候処右
ハ一切禁止候条自今洋銀取引所設立營業致度者ハ昨十一月五日第
三号布告株式取引所條例ニ照準シ大蔵卿へ可願出此旨布告候
事

但シ資本金ハ拾五万圓以上賣買証拠金ハ百分ノ三以上タル
べシ

明治十二年二月十三日 太政大臣三條実美

夫レ貨幣相場ノ取引ヲ禁止スルカ為メ右ノ布告ヲ発行スルガ

二月十四日刊行横濱「チャッパン」へ「ラルト」新
銀相場取引禁止ノ布告ヲ論ス

鬼頭帰二郎譯

濱港ニ於テ洋銀相場取引致候者有之候処右
洋銀取引所設立營業致度者ハ昨一丁年五月第
四條例ニ照準シ大藏卿へ可願出此旨布告候

五万田以上賣買証拠金ハ百分ノ三以上タル

月十三日 太政大臣三條実美

引ヲ禁止スルカ為メ右ノ布告ヲ發行スルガ

第三号ハ第八号拾五万田ハ拾万田ノ誤植

如キハ実ニ無用ノ贅物タルヲ免レサルヘシ
看ヨク抑モ貨幣ナルモノハ則チ自他物品ノ如ク一種ノ高品タ
ルニ過キスレテ恰モ生糸、茶、毛糸、金中ノ類ト毫モ差異ナリ全世
界中何レノ地方ニ至ルモ賣買ノ随意ナル者ニ非ズヤ
右ノ太政官布告ハ僅ニ横濱港一地ニ限リテ洋銀相場取引ヲ禁
止スルモノタルト明亮ナレバ令ヨリ相場師輩ハ早クモ東京其
他本縣管轄外ノ地ニ轉ジ随テ禁スレハ随テ轉ジ以テ其賣買ヲ
営ミ容易ニ禁令ヲ避ルニ至ラン然ラザレハ亦内外諸銀行ノ内
何レニ依ルカ或ハ銀行雇入レノ支那番頭輩ニ依ルカ若シクハ
外國人中某々等ニ依リ遂ニ相場取引ヲ行フヲ得ルニ至ルヘ
政府カ假令ヒ布令ヲ發シテ洋銀相場ノ取引ヲ禁止セント欲ス
ルモ前ニ陳スル理由アルヲ以テ之ヲ觀レハ此禁令ハ輒チ無用

ノ者ト為ルヲ免レズ是ニ於テカ知ル政府カ始メヨリ今日ノ如
キ処置ニ出ザルノ至当ナリシヲ
承リ何レノ國ノ政府ニテモ其布令規則等ヲ發行スルヤ豫メ其
目的ヲ達スルニ足ルベキ十分ノ証左アレバコソ是ヲ公布スル
モノナレハ苟モ其目的ヲ達スルニ足ル可キ者ナクシテ豈事ヲ
行ヒ令ヲ發スルヲ為サンヤ然ラバ則チ日本政府ニシテ此令ヲ
發スルハ實ニ大ナル失錯ニシテ且ツ有害ノモノナリト云
政府ニ於テハ洋銀取引所ノ取締向キボラ一層完全ナラシメン
ク為メニ令ヨリシテ洋銀取引所ヲ設立シ營業メンテラ欲スル
者ハ更ニ大藏卿ニ願出シテ特別ノ許可ヲ乞フヘキトト定メ且
ツ其資本金ヲモ定メタリ日々新聞ニハ拾五万圓トアレ其
ノ諸新聞ニハ拾万圓トアリ亦右取引所望ミノ者ハ証拠金トシテ
百分ノ三ヲ政府ニ差出スヘキ旨ヲ令セリ

天
藩
省
仮令ニ政府ニテ以工ノ如キ布令ヲ發シテ種々ノ尽カヲ為スト
モ紙幣相場ノ變動ハ依然トシテ猶止マサルベシ
抑モ傾幣ノ價格ハ政府ノ法令ヲ以テ制定シ得可キモノニアラ
ズ其昇降ハ需用供給ノ定則ニ悖因ルモノトス
サレバコソ若シ洋銀ノ需求アルハニハ之レヲ需メシ欲スル
者ハ各自相争テ買収セントスルカ故ニ其相場騰貴シ之レニ反
シテ需求ヲケレバ其相場下落スベキナリ
夫レ洋銀相庭取引ノ如キハ實ニ高賣ノ法ニ合フ事業ナレバ仮
令ニ政府カ幾許ノ布令ヲ發スルトモ政府切迫ノ極之レヲ發ス
ルニモセヨ又ハ可否ヲ辨別シ難クシテ發令スルニモセヨ
然
レテ其行ハルハヤ必セリ

